

第2章 パソコン利用者

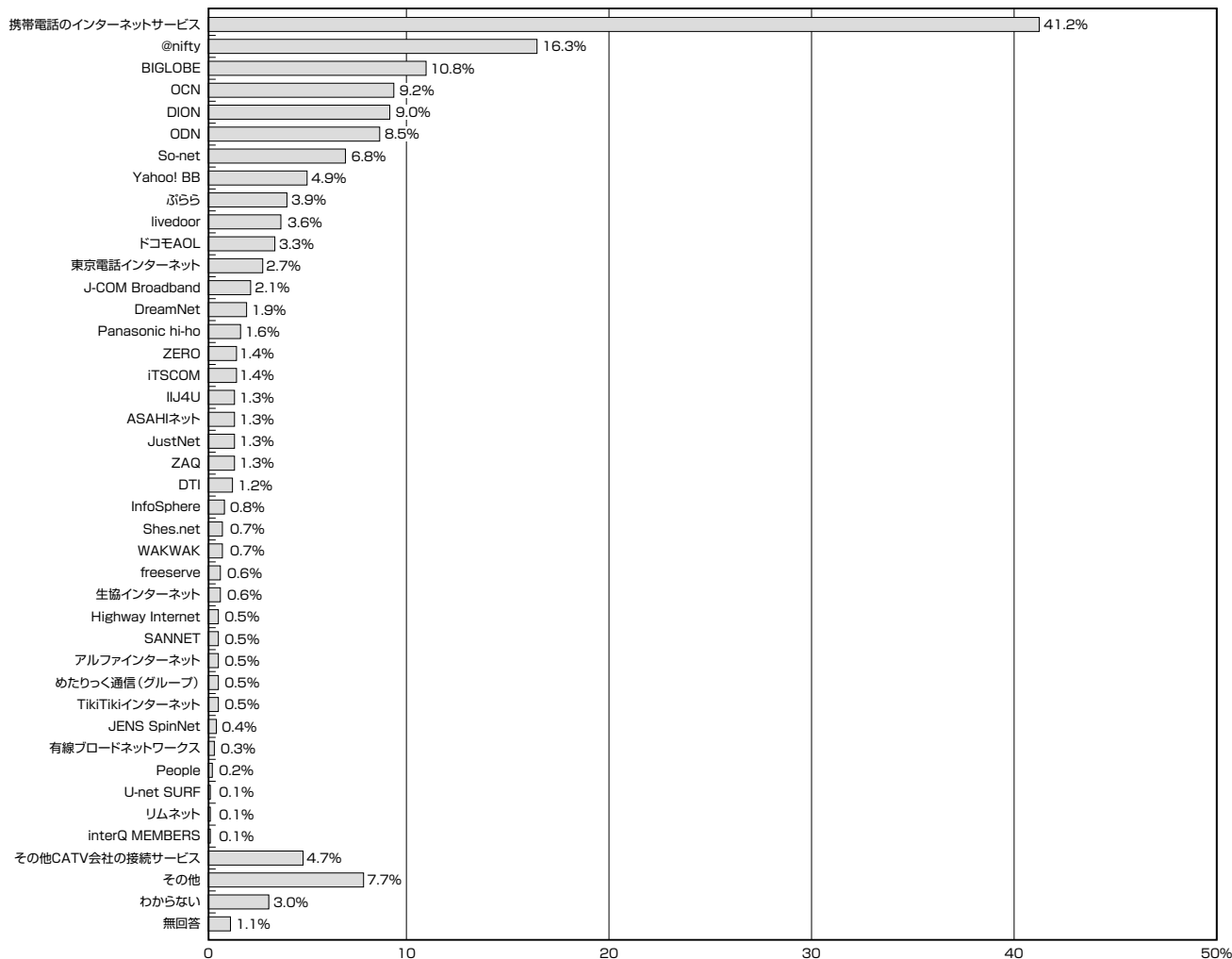
契約プロバイダー

PC全体では@niftyが1位を守る

ブロードバンド

& ナローバンド

資料1-2-11 契約プロバイダー N=1,541



© Access Media/impress.2002

解説

■契約プロバイダー

昨年の調査から「携帯電話/PHSのインターネットサービス利用」を新規選択肢として入れている。その「携帯電話/PHSのインターネットサービス利用」は昨年に引き続き1位となっており、比率も昨年の36.9%から41.2%と増加している。

「@nifty」「BIGLOBE」「OCN」「DION」「ODN」「So-net」が上位を占めており、昨年同様大手キャリア系が強い。しかしながら、ブロードバンド化の状況は契約

プロバイダーにも表れており、昨年6月に開始した低価格ADSLサービス「Yahoo! BB」が(4.9%)で8位にランクインしているのを始め、CATV系ISPである「J-COM Broadband」(2.1%)も13位に挙げられている。

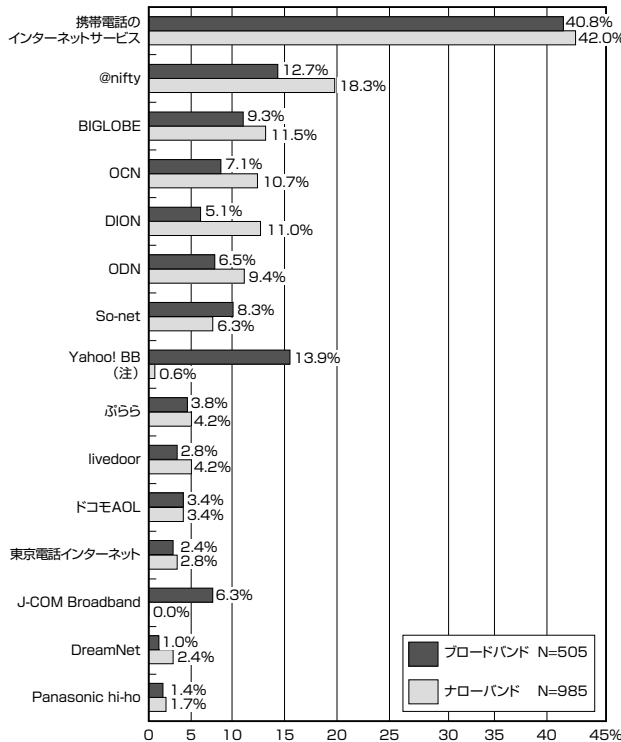
性別年代別で上位プロバイダーの特徴をみると、20代、10代の若年層からと女性からの支持が相対的に高いのは昨年同様「携帯電話/PHSのインターネットサービス利用」「ODN」「So-net」である。

「@nifty」は男性の比率が高く、60代以上が目立つのも特徴といえる。無料サービスが売りの「livedoor」は特に10代、20代で支持が高い。「CATV会社の接続サービス」は40代、50代の支持が高く、「ドコモAOL」も40代、50代がやや目立つ。また、1人当たりのプロバイダーの契約率は1.56で複数契約率が高い。これは携帯電話/PHSによるインターネットサービスの併用が増えたためである。

今年ブロードバンド/ナローバンド別

ブロードバンド
& ナローバンド

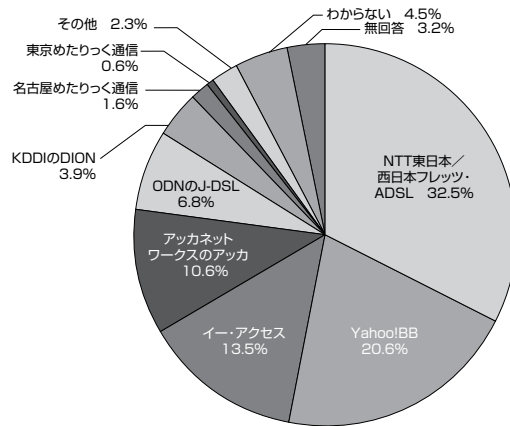
資料1-2-12 ブロードバンド/ナローバンド別契約プロバイダー (上位15社)



(注) ナローバンドにおけるYahoo! BBは契約進行中

© Access Media/impress,2002

資料1-2-13 ADSL利用者のADSL提供会社 N=311



© Access Media/impress,2002

解説

でも契約プロバイダー（上位15社まで）をみている。全体の傾向は併用も多いため大きくは変わらない。特に「携帯電話/PHSのインターネットサービス」利用はブロードバンド/ナローバンド両者ともに高く、パソコンからだけでなく携帯電話/PHSからのインターネット利用が増えていることを裏付けている。当然ながらブロードバンド接続利用者では「Yahoo! BB」と「J-COM Broadband」で際立って高くなっている。

ブロードバンドの中でも、昨年急速に伸びたADSL/xDSLを主な接続方法と回答している人にその提供会社（足回り）を聞いたのが資料1-2-13である。これはADSL/xDSL接続回線サービスを利用する場合、ADSL/xDSLプロバイダーと直接契約するか、たとえばNTT東西日本のフレッツ・ADSLサービスを@niftyの「フレッツ・ADSL」コースとして契約する2通りがあるため、実際のADSL提供会社が契約プロバイダーと異なるケースがあ

るためである。最もシェアが高いのは「NTT東西日本のフレッツ・ADSL」で32.5%、ついで「Yahoo! BB」（20.6%）、「イー・アクセス」（13.5%）、「アッカネットワークスのアッカ」（10.6%）となっている。「わからない」や「無回答」は少なく、ADSL利用者は実際の足回り業者をよく知っており、充分吟味したうえでサービスを選択していることがうかがえる。
(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)

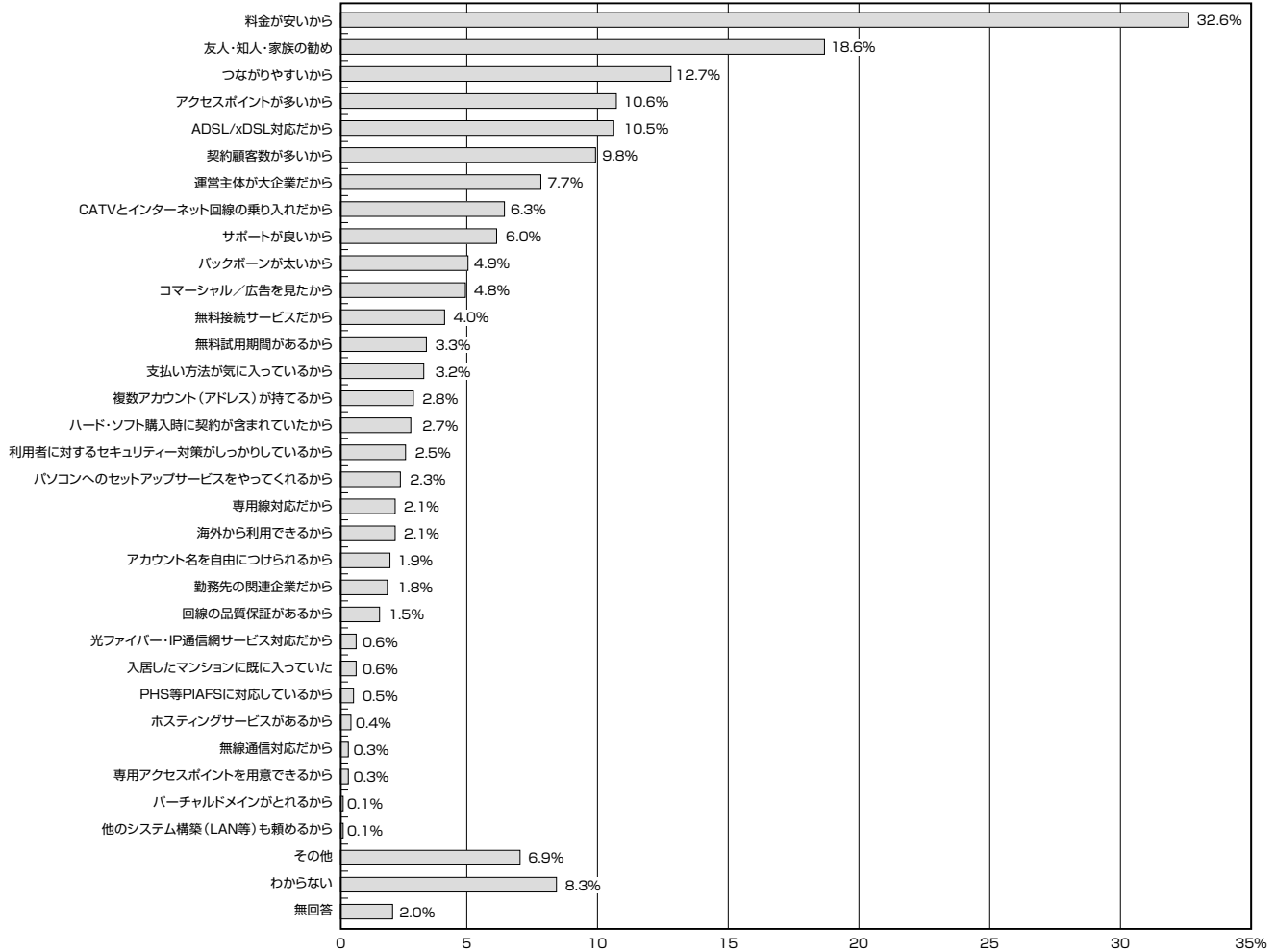
第2章 パソコン利用者

契約プロバイダー

選択のポイントは“ADSL対応”

ブロードバンド
& ナローバンド

資料1-2-14 プロバイダー選択理由 N=1,541



© Access Media/impress,2002

解説

プロバイダーの選択理由をみると、上位4位までは昨年と全く同順位である。1位は「料金が安いから」(32.6%)、2位には「友人・知人のすすめ」(18.6%)、3位は「つながりやすいから」(12.7%)、4位は「アクセスポイントが多いから」(10.6%)となっている。今年の特徴は5位に昨年22位だった「ADSL/xDSL対応だから」(10.5%)が浮上、8位にも「CATVとインターネット回線の乗り入れだから」(6.3%)が入っている。

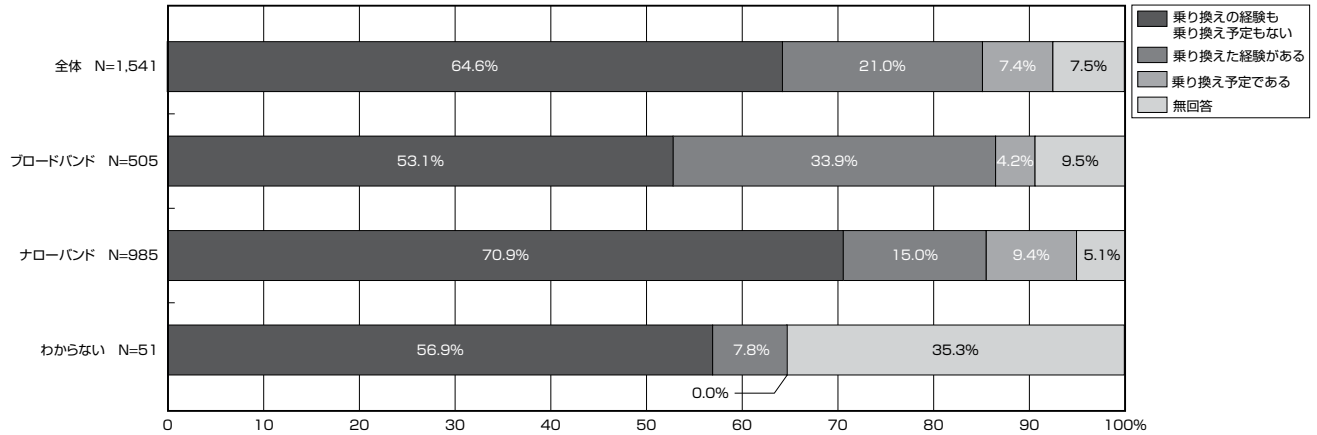
ブロードバンド/ナローバンド別でプロバイダーの選択理由をみると、主な接続方法がブロードバンドの利用者では当然ながら「ADSL/xDSL対応だから」や「CATVとインターネット回線の乗り入れだから」という理由が多く挙げられているが、「料金が安いから」もナローバンド利用者に比べると相対的に比率が高い。ブロードバンドの場合、どのサービスも常時接続でほとんどが月額固定料金となっているため割安感が強いと推測できる。

一方、ナローバンド利用者においては、「友人・知人・家族の勧め」や「アクセスポイントが多いから」「契約顧客数が多いから」の比率が相対的に高い。同時に、この3つの項目は50代、60代以上の高齢層で比率が高い。

ブロードバンド/ナローバンド別にプロバイダーの乗り換え経験を聞いたのが資料1-2-15である。インターネット利用者全体の乗り換え経験は昨年引き続き、2割程度である。ブロードバンド利用者の

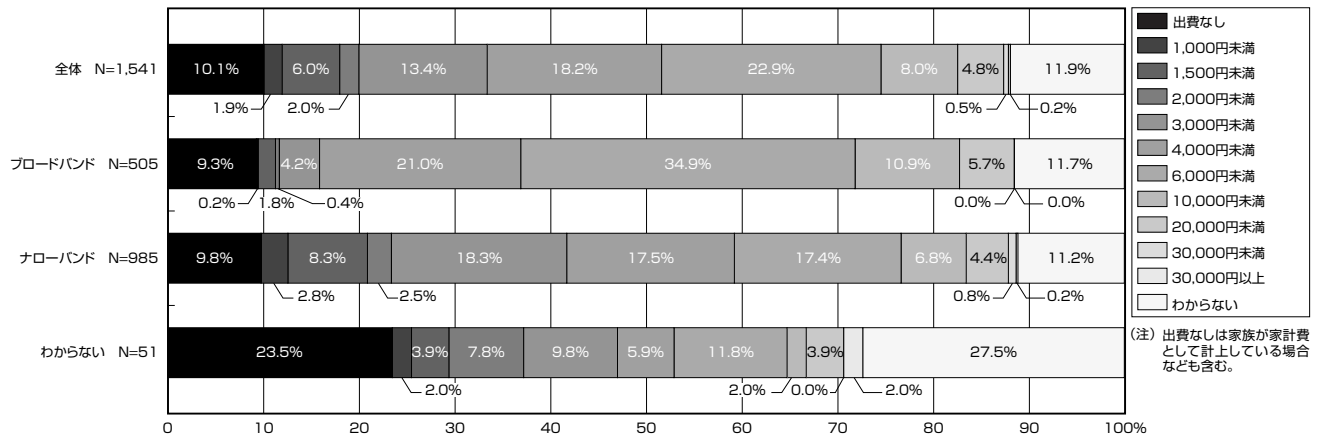
ブロードバンド
& ナローバンド

資料1-2-15 ブロードバンド/ナローバンド別 プロバイダー乗り換え経験有無



© Access Media/impress,2002

資料1-2-16 ブロードバンド/ナローバンド別 インターネット利用費



© Access Media/impress,2002

解説

3分の1が乗り換え経験を持ち、相対的に高い。ブロードバンド接続の利用者はナローバンド利用者に比べてインターネット利用歴がやや長く、ナローバンドからの乗り換えであることも容易に想定できる。逆にナローバンド接続の利用者は今後の乗り換え意向が高く、ブロードバンド利用者に比べると2倍にのぼる。また年代別でみると、乗り換え意向が強いのは10代、20代の若年層である。

プロバイダーへの支払い、通信費を含

むインターネットの利用費をブロードバンド/ナローバンド別にみたのが資料1-2-16である。全体では1か月当たり「4,000円以上6,000円未満」が最も多く22.9%を占める。次いで「3,000円以上4,000円未満」(18.2%)、「2,000円以上3,000円未満」(13.4%)と続いている。全体平均は4159円で、昨年の7056円と比べてかなり減少しており、価格破壊が起こっていることがわかる。また、ブロードバンド利用者の平均は4697.0円、ナローバンド利

用者の平均は3873.1円と月額800円以上の差がある。ブロードバンド接続は常時接続、月額固定料金で割安感はあるものの、現在のブロードバンド利用者はダイヤルアップなどのナローバンドとの併用も多く、ナローバンド利用者に比べて積極的にインターネットを活用する層であるため、結果として利用費がかさんでいるものと推測できる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp